

## 第65回 東葛しぜん観察会

### 実りの秋 手賀の丘の古墳と谷津田を訪ねて

鈴木俊二（我孫子市）

日 時：2010年10月3日（日）9:30～14:30 天気：曇り

場 所：手賀の丘公園と谷津田（柏市）

参加者：大人30名、子ども2名、合計32名、指導員15名

担当指導員：日野原純子 鈴木俊二 龍門海行

片岡 川瀬 小島 酒井 坂部 渋谷 鈴木（と）瀬谷 田口

中川 三嶋 山口

さわやかな秋の一日、午前中は手賀沼を望める「手賀の丘公園」を出発し、下総台地に沢山の谷が切れ込んだ谷津田の林縁を観察しながら始まりました。途中、平安時代に行基が開山したと言われる「弘誓院の柳戸の観音様」、「柳戸の杉桜」そして庚申塚などを見ました。昼食後は台地の山中にある東葛地域で一番古い「北の作1号前方後方墳」、そして「なまこ壁の蔵」、「豪農の長屋門」、などを見ながらのウォーキングを楽しみました。途中ではキンモクセイとモミガラを燃やす匂い、モズの高鳴きなど、谷津田の景観に溶け込む自然の営みを堪能した一日でした。



観察会のテーマである色とりどりの秋の実は

シラカシ、コナラ、クヌギ、クリ、オニグルミ、トキリマメ、イヌガヤ、アケビ、カラスウリ、イチョウ、アオツヅラフジ、ノブドウ、エビヅルなど秋のめぐみを満喫しました。その他にカラムシ、センニンソウ、サワガニ、トウキョウダルマガエル、ノウタケ、マイコアカネ、ノシメトンボが見られました。クリの説明ではトゲの話（イラスト）で盛り上りました。

#### ＜参加者からの感想＞



手賀沼の歴史と景観の説明

- ①いつもの散歩もこれからはゆっくり歩いてもっと観察したい。
- ②カマキリやトンボを捕まえられておもしろかった。
- ③昔の山歩きを思い出す。
- ④「カラムシ」が良くわかつて良かった。
- ⑤近くに住んでいるけど何も知らなかつたので、次回も参加したい。
- ⑥アットホームの指導が良かった。
- ⑦孫と一緒に参加して楽しいひとときを過ごした。
- ⑧木、花、鳥、虫など良くわかつた。
- ⑨自然の見方を教わった。